

# どうとくのち

第2号

2018年秋号



[テーマ1] 小学校

## 道徳科の評価について

[テーマ2] 中学校

## 教科化に向けた準備

この機関誌は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っています。

東京書籍



# CONTENTS

【どうとくのわ】2018年秋号

14 12 10 8 6 5 4 3

## 巻頭言

### 指導観を確立し

### 揺るぎのない授業構想をつくる

帝京大学大学院教授 赤堀博行

## 小学校・総論

教科書を中心とした、道徳科の特質を生かした授業構想

帝京大学大学院教授 赤堀博行

## 中学校・総論

道徳科の実施に向けた諸条件の整備

帝京大学大学院教授 赤堀博行

## 小学校

### テーマ1 道徳科の評価について

道徳科の評価の基本的な考え方

帝京大学大学院教授 赤堀博行

「評価のポイント1」一時間の授業での評価に向けて

東京都八丈町立大賀郷小学校校長 大野寿久

「評価のポイント2」大きくりの評価に向けて

東京都葛飾区立白鳥小学校校長 笹川智恵美

## 中学校

### テーマ2 教科化に向けた準備

年間指導計画の基本的な考え方と具体例

静岡県伊豆市立中伊豆中学校校長 相馬美樹子

座間市立南中学校の取り組みを紹介します！

神奈川県座間市立南中学校教諭 田中貴彦



編集：東京書籍 編集局 道徳編集部  
編集協力：株式会社エディット  
デザイン：クオルデザイン(坂本真一郎)  
イラスト：サカモトアキコ  
マンガ：深蔵



# 指導観を確立し 揺るぎのない 授業構想をつくる

小学校では今年度から、中学校では来年度から「道徳の時間」が「特別の教科 道徳（以下「道徳科」）」となり、教科書を主たる教材とした授業が行われることとなります。

今回の「道徳の特別の教科化」は、これまで、ともすると軽視しがちだった道徳授業の意義を再確認し、いじめの防止なども視野に入れながら、義務教育段階において、確実に人格の基盤である道徳性を養うことを意図したものです。すべての学校で、すべての先生が週一時間の道徳科の授業をしっかりと行っていくという多くの人々の願いが込められています。道徳科の特質を理解して、子供たちの豊かな心を育むために、よりよい授業を創ってほしいところです。

中央教育審議会答申「道徳に係る教育課程の改善等について」では、道徳授業の特質が生かされていない場合があることが挙げられています。読み物の登場人物の心情理解のみに偏った形式的な指導が行われていることや、発達の段階などを十分に踏まえず、望ましいと思われる分かったことを子供に言わせたり書かせたりする授業になっていることなどが課題として指摘されました。

子供が多様な教材を通して道徳的価値に関わる諸事

象を自分の問題と受け止め、それを自分との関わりで考える主体的・対話的で深い学びが求められています。そして、主体的に自分の考え、感じ方をもち、友達の多様な考え、感じ方と交流する話し合い活動などの対話的な学習を通して、道徳的価値の自覚を深めるようにすることが大切です。

そのためには、教師が内容項目についての理解を深め、それに基づいて子供の良さや課題を明らかにした上で、授業で何を考えさせたいのかその方針を焦点化する「確かな指導観」を確立することが何よりも重要です。「確かな指導観」とは、授業者が一時間のねらいとする道徳的価値について、大切にしたいこと（授業者の価値観）を明確にもち、道徳科の授業だけでなく、日常的に行う道徳教育においてもこれを大切にして指導します。その結果、子供たちには良さが見られるようになります。一方、課題も明らかになります。これらを基に子供たちに考えさせたいことや学ばせたいこと（児童・生徒観）を焦点化していくのです。そして、これに基づき、授業で用いる教材をどのように活用するのか（教材観）を定めます。「確かな指導観」をもつことで、一貫性のある揺るぎのない授業構想を期待したいところです。

プロフィール  
帝京大学大学院教授  
あかほり ひろゆき  
**赤堀 博行**

公立学校教諭、調布市教育委員会指導主事、東京都教育庁指導部主任指導主事、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官等を歴任。主な著書『特別の教科道徳で大切なこと』『小学校 考え、議論する道徳科授業の新展開』いずれも東洋館出版。

## 教科書を中心とした、 道徳科の特質を生かした授業構想

今年度から小学校においては、教科書を主たる教材とした道徳科の授業が行われています。各学校は、教科書を中心とした年間指導計画を作成し、学校の道徳教育の目標に向けた道徳科の授業を計画的、発展的に行うようにすることが大切です。

道徳教育では、子供の道徳性を養うために、学校が定めた道徳教育の目標に向かって具体的な指導を行う



ことが求められます。そして、各校には、道徳科の目標に向かって指導するための重点内容項目があります。これは、学校の教育活動全体で行う道徳教育において、また道徳科の授業においても重点的に取り扱うべき内容項目ということになります。

教科書は、学校教育法に定められている通り、授業の中で使用する義務がある教材であり、道徳科の標準授業時数に合わせて三十五の教材が掲載されているものと思われま。ところが、学校が重点的に指導しようとする内容項目に関わる教材が、使用する教科書に一つしか掲載されていないような場合、教科書の教材を順番に活用するだけでは、学校としての重点的な指導ができなくなる可能性があります。そこで、教科書に掲載されている教材のいくつかを重点内容項目に関わる別の教材に差

し替える必要が出てきます。

中央教育審議会答申「道徳に係る教育課程の改善等について」では、道徳教育の特質に鑑み、教科書だけでなく多様な教材が活用されることが重要である旨が示されています。また、学校教育法の第三十四条第二項でも、教科用図書以外の図書その他の教材で、有益適切なものは使用することができるという規定があります。

しかし、教科書が中心的な教材であることは基本となります。教科書を効果的に使用した上で、多様な教材の活用を工夫し、道徳科の特質を生かした授業を積み重ねることが子供の道徳性を養うことにつながるのです。学校の道徳教育の目標、それに基づく重点内容項目、使用すべき教科書に掲載されている教材を勘案して、学校としての重点的な指導を展開してほしいものです。



## 道徳科の実施に向けた 諸条件の整備

中学校では、平成三十一年度から道徳科が全面実施となり、教科書を使用した授業の実施や授業における子供の学習状況や成長の様子の指導要録への記述などが行われます。各学校においては、全面実施に向けた諸条件を整えることが急務となっています。

道徳科の全面実施に際して、具体的に授業をどう展開したらよいかということばかりに意識がいきがちですが、道徳科は単独の教育活動ではなく、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての役割を担っています。つまり、各教科等で行う道徳教育を補充、深化、統合する役割があるのです。各学校の平成三十一年度の全面実施に向けてその条件整備を計画的に行うことが期待されます。

第一に、道徳教育の全体計画の改善です。道徳の教科化が図られまし

たが、道徳教育は教育活動全体で行うこと、道徳授業がその要となる原則は変わりません。学習指導要領に示された内容項目は、道徳科だけでなく教育活動全体で行う道徳教育の指導の拠り所となります。このことから、道徳教育の全体計画の見直しが必要です。全体計画の改善に当たっては、道徳教育の重点目標や重点内容項目の設定をはじめ、各教科等で行う道徳教育の指導方針、職場体験活動やボランティア活動、自然体験活動といった体験活動などについて再確認することが求められます。

第二に、全体計画の別葉の作成です。作成に当たっては、各教科等でのような道徳教育ができるかといった網羅的な考え方ではなく、学校の重点内容項目について個々の教科でどのような指導が可能なのかを焦点化する考え方で作成することが

大切です。

第三に、道徳科の年間指導計画の作成です。道徳科では教科書を主たる教材として使用する授業を行うこととなります。初めて教科書を使用して授業を行うに当たっては、教科書に掲載されている教材を中心とした年間指導計画が必要になります。道徳科の授業では、学習指導要領に示されている二十二の内容項目を三十五単位時間で指導することになりますが、仮に各内容項目を一回ずつ指導したとすると、十三単位時間余ります。その十三単位時間では、学校の重点内容項目を繰り返し指導することにようになります。年間指導計画には、各学年の基本方針、各学年の年間にわたる指導の概要などを示すようにします。

このような条件整備を行った上で、授業構想を行うことが肝要でしょう。



# 道徳科の評価の 基本的な考え方

## 1 道徳科における評価の意義

学習指導要領の総則には、「児童のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにすること」とあるように、学習評価の基本的な考え方は、他者との比較ではなく子供一人一人のよい点や可能性などの多様な側面を把握するとともに、それらが年間や学期にわたってどれだけ成長したかという視点を大切にすることが重要としています。道徳科の評価についても、こうした基本的な考え方の下、授業を通して把握した学習状況や道徳性に係る成長の様子

が指導に生かされ、結果的に子供の道徳性を養うことにつながるものでなくてはなりません。



## 2 学習状況や道徳性に係る 成長の様子についての評価とは

学習状況の把握では、道徳科における子供の学習状況を把握するためには、授業者が一定時間の授業で一定の道徳的価値について何をどのよう  
に考えさせるのか、明確な指導観をもって授業を構想することが重要です。子供たちが何をどのように考えるのか、これが具体的な学習であり、この学習のあり様が学習状況です。

例えば、節度を守って行動することとは大切だが、つい度が過ぎがちな人間の弱さを考えさせたいという意図であれば、子供たちがこのことを考えているかどうかの評価の視点になります。また、このことに加えて、例えば、道徳科の特質である道徳的価値の理解について、読み物教材の登場人物に自我関与して道徳的価値について考えたり、対話的な学びを通して道徳的価値の理解を深めたりする様子などがうかがえた場合には、これらも学びの良さとして見取することも大切です。

道徳性に係る成長の様子とは、道徳性の成長の様子ではなく、道徳性を養うために行う学習の様子がどのように成長しているのかを把握するということです。具体的には、一人一人の子供について、道徳的価値の理解に関してどのような成長が見られるのか、自己を見つめることに関してどのような成長が見られるのかなどを把握することです。道徳性に係る成長の様子を把握するためには、一時間一時間の授業を着実に積み上げ、学習状況を把握していくことが大前提になります。



## 3

## 道徳科の評価における配慮事項

道徳科における評価において配慮すべきこととして、数値による評価ではなく、記述式であることが挙げられます。道徳科の学習状況の評価について、道徳性の諸様相である道徳的判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲と道徳的態度のそれぞれについて分節し、学習状況を分析的に捉える観点別評価を通じて子供を見取るうとすることは、子供の人格そのものに働きかけ、道徳性を養うことを目標とする道徳科の評価としては妥当ではありません。道徳性を養うことを目標として行う学習の実現状況や到達状況ではなく、学びの姿としての学習状況について、その良さや学習を積み上げたことで見られる成長の様子を文章で記述します。

そして、相対評価ではなく、児童生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて励ます個人内評価として行うことが求められます。個人内評価は、他の子供との比較によるものではないので、すべての子供におい

て良さや成長の様子を伝えることができたり、一人一人の努力を認めたりすることが出来ます。子供たちの学習状況を適切に把握して、その良さや可能性を見いだし、子供たちにフィードバックすることで、子供たちの学習意欲を高めることが出来ます。道徳科では、子供たちがよりよく生きてみよう、よりよく生きたいという思いにつながる評価を工夫することが何よりも重要です。

また、子供の学習状況を他の子供と比較したり、成長の度合いを対比したりすることは意味のないことです。一人一人の子供の生き方は、これまででもこれからも同様ではないのです。

さらに、個々の内容項目ごとではなく、大きくりなまとまりを踏まえた評価を行うことが求められます。道徳的価値は多様に存在しますが、子供の発達の段階を考慮して指導内容として再構成したものが内容項目です。

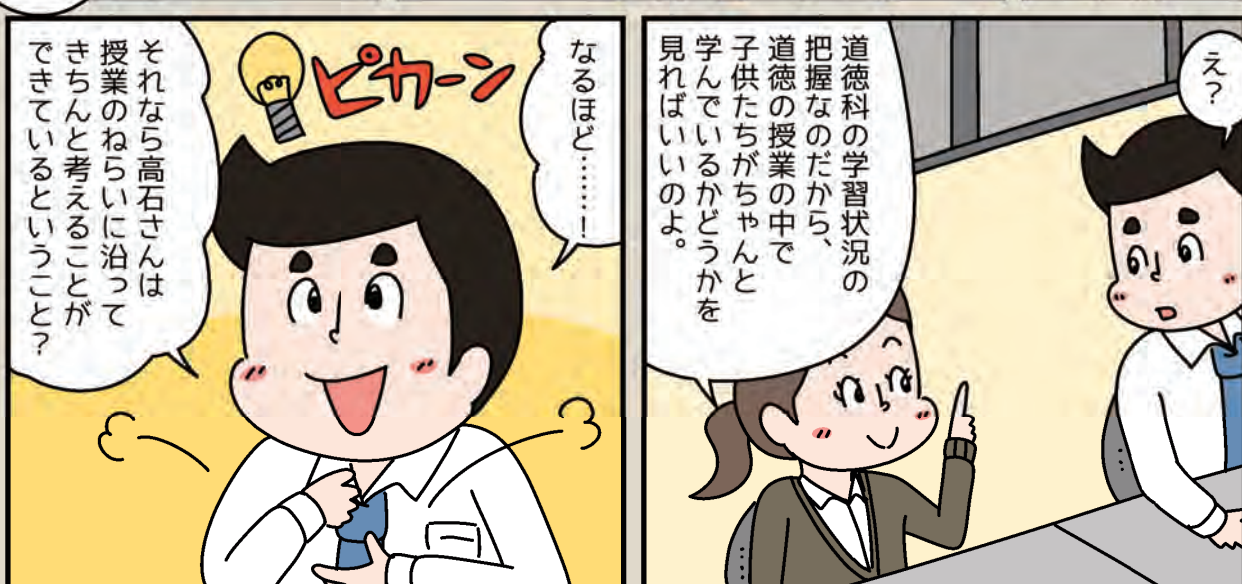
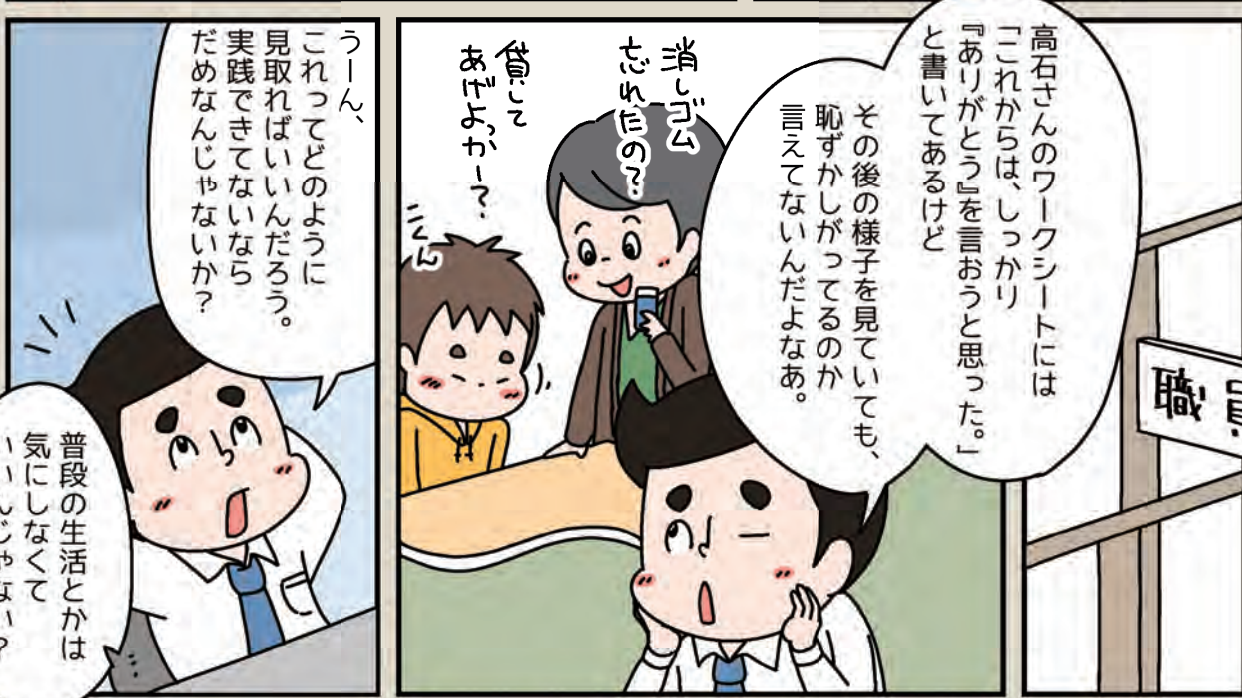
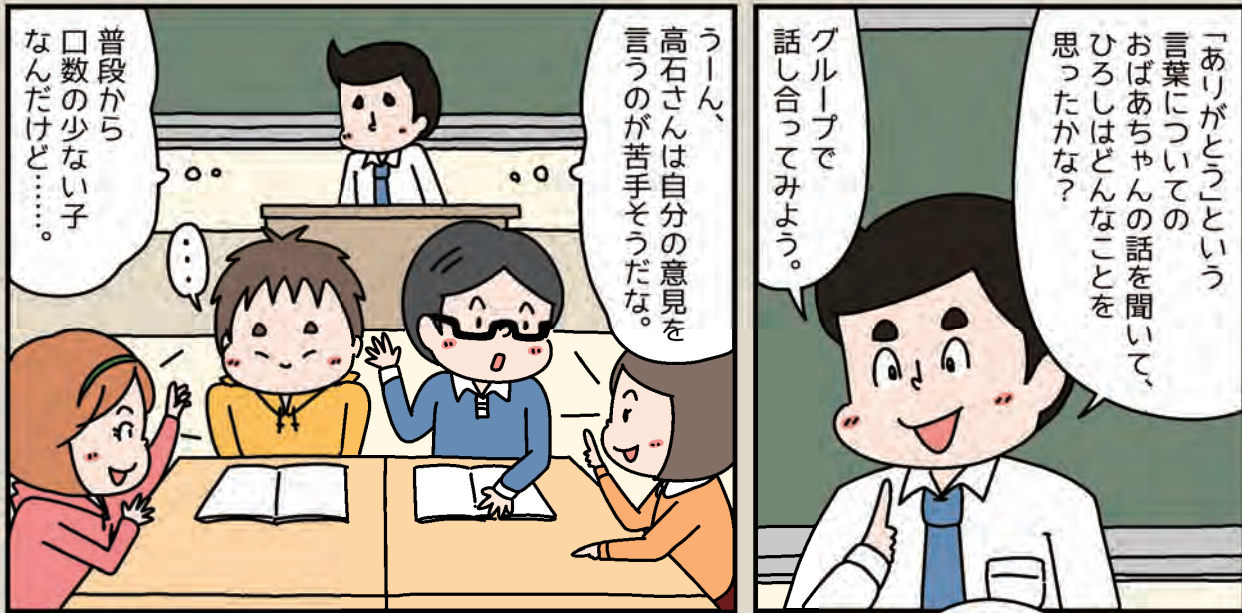


個々の内容項目は大切なものですが、私たちの日常生活の中には、道徳的価値が単独で存在することは稀で、様々な道徳的価値が関わり合いながら人間としてよりよく生きるための実践につながります。したがって、子供たちが個々の道徳的価値についてどのような学びをしたかを詳細に分析して把握することよりも、よりよく生きることにつながる学び

を鳥瞰することが大切ではないかという事です。学習の一部分だけを見て判断するのではなく、一定期間の学びの中から良さを見いだすようにすることが大切です。

一方、発達障害等のある児童や海外から帰国した児童、日本語習得に困難のある児童等に対して配慮すべき観点等を学校や教員間で共有するなどの配慮も大切になります。

小学校 評価のポイント





# 1時間の授業での評価に向けて

東京都八丈町立大賀郷小学校 校長 おおの としひさ 大野寿久

## 道徳科の評価のあり方で忘れてはいけないポイント

道徳科の評価として忘れてはいけない大きなポイントは、あくまで道徳科の授業の評価であり、普段の生活の様子や児童の道徳性を評価するのではないということです。道徳科の授業の中で見せる児童の個別の姿を見取っていくということを忘れないようにしましょう。

次に、使ってしまうがちな「〇〇が深まりました。」という言葉には注意が必要です。本当に深まっているかどうか、どこで見取るのでしょうか。なるべくなら「〇〇が深まりました。」という表

現は使わないようにしたほうがよいと思います。もし使う場合は、道徳科の授業におけるつぶやきやワークシートの中ですばらしいと思える発言や記述を探し出し、『「〇〇(教材タイトル)」の学習ではこんな発言をしていました。』というように、児童の具体的な発言や様子をしっかりと表記するようにしなければなりません。あくまでも、道徳科の授業中の事実を伝えることを前提として、教師の思いや憶測は書かないということに気をつけましょう。

## 指導展開の中での見取り

では、具体的にどのように見取っていくのか、下記の教材の例で考えていきましょう。

主題名 「がんばる心」(A 希望と勇気, 努力と強い意志)

教材名 「うかんだ うかんだ」(東京書籍「あたらしい どうとく 1」)

### 発問

#### 【中心発問】

どんな気持ちで毎日何度も練習したのでしょうか。

#### 【補助発問】

体が浮かんだとき、どんな気持ちだったのでしょうか。

#### 【振り返りの発問】

自分が頑張っていることはどんなことですか。また、どんな気持ちで取り組んでいますか。(ワークシートなどに書かせる。)

### 予想される児童の言葉と見取り

「練習すればきっとできるようになるはずだ。」

と答えた児童がいました。この児童は主人公と自分自身を重ね合わせて、努力すれば必ずできるという自分の考えを表したものと捉えることができます。

「やった、やればできるんだ。毎日練習してよかった。」  
「泳げるまで頑張ろう。」

このような発言は希望と勇気の良さを感得している表れと考えられ、この児童はめあてをもって、頑張ることの良さを考えた評価ができるでしょう。

「わたしは、がくげいかいのがつきをがんばっています。ちょっとむずかしいけどがんばります。」

「わたしは、まいあさのべんきょうをたいへんだけどもがんばっています。」  
というように、頑張っている自分の姿をワークシート(低学年では主人公への手紙などもよい)に書いた児童は、教材を通して考えた「くじけずに努力することの良さ」を視点に、自分のことを振り返ることができたと評価することができます。

## 見取りの方法

授業の1時間の中での児童の発言(つぶやき)や振り返りの発言、ワークシートをしっかりと蓄積することが大事です。また、感想文や動作化・役割演技の際の発言などの様子からも見取ることができます。1時間ごとの記録をしっかりと取りましょう。

小学校  
評価のポイント



# 大々くりの評価に向けて

東京都葛飾区立白鳥小学校 校長 ささがわ 笹川 ちえみ 智恵美

## ポイントは道徳科授業の充実

大々くりの評価を有効に行うためには、児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、蓄積していくことが大切です。継続的に把握し、蓄積していきながらも、1回の授業を充実したものにすることが欠かせません。

教師は、より充実した授業を行うために、内容項目を十分理解し、指導観（授業において児童に考えさせること）を明確にしておく必要があります。教材を読み始める前に、学習指導要領解説の内容項目の概要と、指導の要点を熟読しましょう。「ねらいからぶれない授業」を展開するために、内容項目に対する自身の考えを明確にして授業構想を立てることが必要です。授業構想を立てたら、内容項目に照らした本時のねらい、中心発問を検討していきましょう。

理想は、児童が週1時間の道徳科の授業を楽しみにするようになることです。「第〇回道徳授業」と板書をして、教師も児童も道徳科の授業を意識するようにしましょう。

## 評価の実際

評価の記載方法や分量については、各教育委員会によって違いがあると思います。指定された範囲内で、各学校で話し合い、道徳教育推進教師を中心に情報共有することが望ましいでしょう。その後、学年ごとに評価内容を読み合わせることで、学校としての共通理解の下に道徳科の評価活動を行います。以下に、本校での例をご紹介します。

### ●本校の確認事項

- ◎保護者に分かりやすい言葉を使って書く。
- ◎授業での児童の成長の様子が分かるように、具体的に書く。

### ●本校の学習状況の評価例

#### 「心をつなぐ音色」6年

A 希望と勇気、努力と強い意志

◎「心をつなぐ音色」の学習では、主人公の努力を支える心について積極的に友達と対話し、自分の考えを広げました。

#### 「白神山地」6年

C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度

◎「白神山地」の学習を通じて、身近な地域（自分たちが暮らす区や町）の良さに目を向け、物だけではなく住んでいる人々や環境にも魅力があることに気づきました。

#### 「あこがれのパティシエ」6年

A 個性の伸長

◎「あこがれのパティシエ」の学習を通して、自分の長所や短所を見つめ直し、長所を伸ばしていきたい、短所は改めたいと気づきました。

#### 「心を形に」6年

B 礼儀

◎「心を形に」の学習では、心を形にする方法を積極的に振り返り、友達への言葉かけや笑顔の大切さについての自分の考えを発表しました。

## 最後に

道徳の教科化によって、どの学級でも教科書を使用した道徳授業が行われることになり、道徳教育の充実に向けて一歩前進しました。しかしながら、道徳科の目標に照らしながら道徳科の特質を生かした授業が展開されなければ、児童一人一人の道徳性を養うことは難しいでしょう。児童に道徳授業を楽しみにしてもらうために道徳授業を充実させる。このことこそが、児童にとって心の成長を実感できる評価につながるようになるでしょう。

中学校

# 年間指導計画の 基本的な考え方と 具体例

## 1 年間指導計画の基本的な 考え方とその意義

道徳科の指導は、学校の道徳教育の目標を達成するために、教育活動全体との関連を図りながら、生徒の発達の段階に即して計画的・発展的に行うことが大切です。そのために、**学校教育目標や生徒の実態を踏まえた経営方針を基に、道徳教育の目標を明確にし、道徳教育全体計画に基づく道徳科の年間指導計画を作成する必要があります。**年間指導計画を作成することで、重点目標達成のために、第一学年から第三学年までにどのような指導を、どのような順序で行えばよいかを明確にします。

年間指導計画の意義をまとめると、以下の通りです。

**1** 三年間を見通した重点的な指導が明確になり、内容項目間の関連を図った計画的・発展的な指導が構造的に理解できるようになる。

**2** 各学級の道徳科の学習指導案立案の拠りどころとなり、生徒観、指導観、教材観の共有ができる。

**3** 学年段階に応じた主題を適切に位置づけられるようになり、各学級の生徒の実態を考慮した多様な指導方法の発案等、学習指導過程の工夫を促す授業改善の推進力となる。

**4** 計画を基に、授業前に指導方法を協議したり、相互授業参観やローテーション道徳の実施、保護者や外部人材の活用を行ったりと、校内研修の日常化が進む。

本校では、全教師に『中学校学習指導要領解説 特別の教科道徳編』を配布し、「特別の教科道徳」の趣旨や、これまでとの変更点について確認した上で、重点目標と重点内容項目を決定しました。さらに、道徳教育推進教師を中心に、道徳科の授業を先行実施し、各種計画を見直すことで、学校全体で道徳科の理解を深めました。また、全体計画の別葉は道徳科の年間指導計画と同時進行で作成しています。



そうま みき  
**相馬美樹子**

静岡県伊豆市立中伊豆中学校 校長  
全日本中学校道徳教育研究会 副会長  
静岡県教育研究会 道徳 前部長

## 2 年間指導計画に明記する 具体的な内容

本校では学習指導要領に示されたA～Dの視点から一項目ずつを重点内容項目として選び、**各教科等の、教育活動との関連を別葉と併せて可視化できるように、年間指導計画の作成を進めました。**また、発達の段階に応じて、各内容項目の配列を工夫したり、重点内容項目の配当時間数を増やしたりするなどし、**系統性と整合性の向上**を図りました。さらに、小中連携の観点から、重点内容項目を共通に設定し、一貫性のある小中連携力リキュラムの作成にも着手しました。

◎道徳の時間 中学校 内容項目 赤字は本校の重点項目

A 主として自分自身に関すること	B 主として人との関わりに関すること
1 自主、自律、自由と責任 2 節度、節制 3 向上心、個性の伸長 4 希望と勇氣、克己と強い意志 5 真理の探究、創造	6 思いやり、感謝 7 礼儀 8 友情、信頼 9 相互理解、寛容
C 主として集団や社会との関わりに関すること	D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること
10 遵法精神、公德心 11 公正、公平、社会正義 12 社会参画、公共の精神 13 勤労 14 家族愛、家庭生活の充実 15 よりよい学校生活、集団生活の充実 16 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 18 国際理解、国際貢献	19 生命の尊さ 20 自然愛護 21 感動、畏敬の念 22 よりよく生きる喜び

## 年間指導計画の項目例

### ア 月日(実施時期)

1年間の生徒の成長や季節、学校行事等、教材との関連性を考慮し、適切な指導時期を考慮する。

### イ 主題名

どのような道徳的価値をねらいとして、どのように教材を活用するのかを端的に表現する。

### ウ ねらい

内容項目を基に、ねらいとする道徳的価値や道徳性の諸様相を端的に表現したもの。

「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」という道徳科の目標を教師が理解し、道徳性を養うことが分かるように記述する。

### ◎年間指導計画具体例(1年生)

回	10	11
ア 月日(実施時期)	6月29日	7月6日
内容項目	D-(19)生命の尊さ	A-(4)希望と勇気、克己と強い意志
イ 主題名	いのちを考える	さらなる高みを目指して
ウ ねらい	主人公の生涯から、生命の尊さを理解し、かけがえない自他の生命を尊重しようとする意欲を育てる。	希望と勇気をもって積極的に取り組むとともに、困難に屈しないで粘り強く最後までやり抜く意欲を育てる。
エ 教材名	決断！骨髄バンク移植第一号	全てがリオでかみ合った
出典	東京書籍「新しい道徳1」	東京書籍「新しい道徳1」
オ 主題設定の理由	生命は自分だけのものではなく、周囲の生命と関わっている。中学生の多感な時期にこそ、生きる喜び、目標、意味を考えさせたい。限りある人生を精一杯生き抜く心意気が大切であり、その中に喜びや幸せのあることに気づき、自己を見つめ、自分以外の生命を尊重していく態度を養えるよう、本主題を設定した。	中学生の時期は、興味や関心が多様化するため、移り気な面が出てくる。そのため計画性や見通しに欠けたり、独善的すぎたりして、困難に直面すると簡単に挫折してしまう。人間の意志は本来ひ弱なものであるからこそ、正しい目標に支えられた計画性、自発性、積極性で自分を支えていこうという意欲をもてるよう、本主題を設定した。
カ 学習指導過程と指導方法	(導入) 骨髄バンクについて知っていることはあるか。 (展開) ・二人が握手をして抱き合い確かめ合ったことはどのようなことだろう。 (振り返り) 命の尊さについてどんなことを考えたか。	(導入) 山縣選手について知っていることは何か。 (展開) ・悩んでいた山縣選手を支えていたのはどのような思いだろうか。 (振り返り) 目標を達成していくためにはどのようなことが必要か。
キ 評価	命の有限性・連続性の視点から、自他の命の大切さについて考えたか。	困難に屈しないで粘り強く最後までやり抜こうとする思いを考えたか。
他の教育活動との連携	・薬学講座(6月) ・学校保健委員会 ・参観日	・3年生激励会 ・中体連・コンクール ・ドリームプロジェクト
その他(GT活用等)	・保護者	・オリンピック推進課行政職員

### エ 教材名, 出典

教科書及び学校の重点内容項目を踏まえ、文部科学省の読み物資料や『私たちの道徳』、郷土資料も取り入れる。35時間の授業時数から、22の内容項目を引いた時間を重点内容項目の授業に複数充当させ、教材を変更する場合は出典を明記する。

### オ 主題設定の理由

ねらいを達成するために教材を選定した理由を簡潔に示す。主題をつくることを主題構成という。指導する道徳的諸価値について、どのような教材を活用して授業を展開するのかの方向性を明確にする。

### カ 学習指導過程と指導方法

ねらいを踏まえて、教材をどのように活用し、どのような手順で学習を進めるのかを記載し、学校としての共通実践の土台とする。

### キ 評価, 他の教育活動との連携等

評価や他の教育活動との連携、日常の学級経営における配慮、指導方法の工夫等、授業を進める上で改善のための振り返りとなる欄を設ける。

※道徳教育の全体計画・別葉・年間指導計画・重点内容項目を1つの掲示板にまとめ、各自がチェックを行っている。

※年間指導計画においては、学級ごとに子供の実態も違うため、事前に授業者がねらいや発問等について変更を行うことがある。

# 座間市立南中学校の 取り組みを紹介します！



神奈川県座間市立南中学校 教諭  
校内研究主任  
**田中貴彦**  
たなか よしひこ

## 年間指導計画と別葉の工夫

本校では、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実のために、特別の教科である道徳を要とした全体計画の作成及び、別葉の様式について改善を重ねてきました。

平成二十九年度までは縦軸に内容項目、横軸に教科・領域等が並んだ別葉を作成しており、この様式では、内容項目ごとにどの教科・領域等が道徳教育を行っているのかが把握しやすくなりました。しかし、これは年間を通じてバランスよく道徳の授業を計画する上では大変有効でしたが、今、目の前にいる生徒たちが何を学び、どんな道徳性を養いながら日々過ごしているのかが見えづらいものでした。

そこで、平成三十年年度からは縦軸に指導時期、横軸に教科・領域等が並んだ別葉に変更しました。このことにより、今現在どのような項目について生徒たちが学んでいるのかということが把握しやすくなり、より一層、学校教育全体での道徳教育の取り組みが意識できるようになってきました。

すくなく、より一層、学校教育全体での道徳教育の取り組みが意識できるようになってきました。

そしてさらに、道徳の授業における「補充・深化・統合」に向けて、より時期に適した年間指導計画が作成できるようになりました。

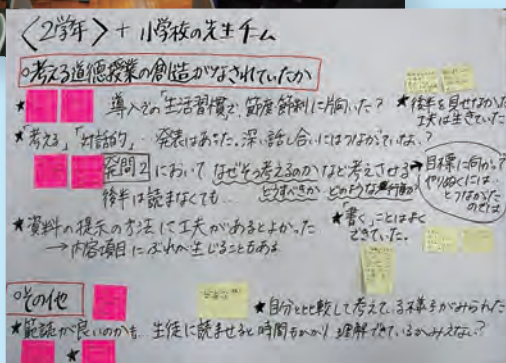
## 校内研究における 特別の教科道徳の推進

本校では、座間市教育課程等研究推進委託事業として、平成三十年度、三十一年度の二年間にわたり、「考える道徳授業の創造〜よりよく生きる道徳性を養うために〜」というテーマのもと、校内研究に取り組んでいます。研究には、スーパーバイザーとして帝京大学大学院教授の赤

◎座間市立南中学校 道徳年間指導計画及び別葉(2年)より一部抜粋

主題名	内容項目	教材名	ねらい	「私たちの道徳」関連ページ	月	社会	数学	理科	英語	総合	特活
礼儀の大切さ	B-(7) 礼儀	あいさつ	礼儀が相手を尊重する精神のあらわれであることを理解し、時と場に応じた適切な言葉づかいや言動を取ろうとする態度を育てる。	p.48-53 指導過程：終末	5月	授業内容 武士による支配の完成 天下泰平の世の中		物質のなり立ちと化学変化	Program2 A trip to Finland	遠足の取り組み	遠足の取り組み
望ましい生活習慣	A-(2) 節度、節制	ばなしの女王	望ましい生活習慣を身につけ、節度のある生活をしようとする態度を育てる。	p.10-15 指導過程：導入							
思いやる心	B-(6) 思いやり、感謝	心に寄りそう	他の人の気持ちや立場を尊重し、そのときどきの心に寄りそいながら温かく接していこうとする態度を育てる。	p.54-59 指導過程：導入							
きまりを守る	C-(10) 道徳精神、公德心	許さない心	社会生活においては、秩序や規律を守ることが大切であることを理解し、これを守ろうとする態度を育てる。	p.134-139, 146-147 指導過程：終末	6月	授業内容 社会の変化と幕府の対策 欧米諸国による近代化	ボランティア活動 ボランティア活動についての問題	動物の世界	Program3 What can we do for others?	赤ちゃんふれあい体験	遠足振り返り
人間の尊敬	D-(19) 生命の尊さ	奇跡の一週間	人の「死ぬこと」と「生きること」を通して、生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。	p.98-107 指導過程：終末							
郷土を愛する心	C-(16) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	祭りの夜	地域社会の一員としての自覚を持って郷土を愛し、先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努めようとする心情を養う。	p.200-205 指導過程：終末							
人と人との交わり	B-(9) 相互理解、寛容	遠足で学んだこと	自分とは異なる個性の持ち主に対しても積極的に心を開き、相手の生き方に謙虚に学ぼうとする態度を育てる。	p.72-77 指導過程：導入	7月	授業内容 開国と幕府の終わり		動物の世界	program4 Eigo Rakugo		進路講演会
自分を探そう	A-(3) 向上心、個性の伸長	私は十四歳	自己を見つめ、自己の適性や能力の発見に努め、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする意欲を育てる。	p.38-43 指導過程：終末							
愛と感謝	B-(6) 思いやり、感謝	愛	人間愛の精神を深め、互いに感謝と思いやりの心を持って生きようとする心情を育てる。	p.54-59 指導過程：終末							

年間指導計画と別葉を1枚のシートで提示することにより、全職員が学校教育全体で行う道徳教育を意識しながら、要となる特別の教科道徳の授業に臨むことができるようになりました。



校内研究の様子。授業のよかった点や改善点を模造紙にまとめて検討する。

堀博行先生にご指導をいただいています。研究を進めていく上で、先生方は以下の三つのグループに分かれ、それぞれの研究を進めています。

**A 教材研究に関する部会**

**B 授業の進め方に関する部会**

**C 評価に関する部会**

まず、**A** 教材研究に関する部会ですが、この部会では全体計画や各学年の重点項目に照らし合わせ、二十二項目を網羅した残りの十三時間の教材・資料について研究を進めています。座間市には、郷土の先人たちの築き上げた功績や地域に根差した活動を綴った「郷土の先人に学ぶ」という独自の資料があり、その資料の活用や地域の行事との連携を中心に来年度の年間指導計画の作成に向けた研究をしています。

**B** 授業の進め方に関する部会では、各学年代表

の先生方で、学期に一度の研究授業に向けて指導案の作成を行っています。学年を超えて一つの指導案を検討することで、様々な意見を交わすことができ、より充実した授業づくりができています。感じています。基本的に道徳の授業は学校一斉で同じ時間に行われますので、授業の様子をVTRで録画・保存しておき、全職員がそのVTRを視聴したのち、よかった点や改善点を付箋に書いて次の校内研究会で検討に臨みます。一学期には第三学年で研究授業を行いました。

**C** 評価に関する部会では、ポートフォリオ形式で生徒のワークシートを保存し、そこから評価をするための資料の見取りや評価の実際についての研究を行っています。座間市中学校教育研究会道徳部会とも連携し、市内で統一できるようなスタイルの確立に向けて取り組んでいます。

平成三十年度は研究の一年目として、来年度に向けた土台作りといったところですが、研究テーマである、考える道徳授業の創造に近づけるよう、継続して研究に取り組んでいきたいと思えます。

**ローテーションを取り入れた授業研究**

本校では、道徳の授業の指導力向上という点から、二種類のローテーションで授業を行っています。

一つは、担任が基本となりながら、副担任の先生が順番に授業に入るパターンです（↓道徳ローテーション表①）。本校の二年生は三クラスなので、担任三人、副担任二人という職員配置です。

◎道徳ローテーション表①

	1c	2c	3c	チェック
1	副担任A			✓
2		副担任B		✓
3			副担任A	✓
4	副担任B			✓
5		副担任A		✓
6			副担任B	✓
7	副担任A			✓

	1c	2c	3c	チェック	
8	担任A	B	C	D,E	✓
9	担任B	C	D	E,A	✓
10	担任C	D	E	A,B	✓
11	担任A	E	A	B,C	✓
12	担任B	A	B	C,D	✓
13	担任C	B	C	D,E	✓
14	担任A	C	D	E,A	✓
15	担任B	D	E	A,B	✓
16	担任C	E	A	B,C	✓
17	担任A	A	B	C,D	✓
18	担任B	B	C	D,E	✓
19	担任C	C	D	E,A	✓
20	担任A	D	E	A,B	✓
21	担任B	E	A	B,C	✓
22	担任C	A	B	C,D	✓
23	担任A	B	C	D,E	✓
24	担任B	C	D	E,A	✓
25	担任C	D	E	A,B	✓
26	担任A	E	A	B,C	✓
27	担任B	A	B	C,D	✓
28	担任C	B	C	D,E	✓
29	担任A	C	D	E,A	✓
30	担任B	D	E	A,B	✓
31	担任C	E	A	B,C	✓

◎道徳ローテーション表②

で、担任三人、副担任二人という職員配置です。基本的に担任が授業を行いながら、三回に一回副担任が代わりに授業を行います。この形では、年間指導計画に従い、全クラスが同時期に同じ題材の道徳の授業を行うので、普段の何気ない会話でも共通した道徳の話題をあげることができ、学年全体、更には学校全体として一体感をもって道徳教育を進めることができます。

もう一つは、学年すべての教師が順番に各クラスを回っていくパターンです（↓道徳ローテーション表②）。この場合には、一人の教師がクラスの数（本校ならば三回）、同じ題材を扱った授業を行います。クラス数が多いほど、同じ題材を扱う時期にずれが生じ、年間計画の意図から多少なりとも外れてしまうことが懸念されますが、道徳の授業力向上という点からは非常に有用な方法です。授業の改善・工夫をしながらよりよい授業へと日々取り組むことができます。



東京書籍

本社 〒114-8524 東京都北区堀船 2-17-1 Tel : 03-5390-7354(道徳編集部) Fax : 03-5390-6014  
支社・出張所 札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467 金沢 076-222-7581 名古屋 052-939-2722  
大阪 06-6397-1350 広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770 那覇 098-834-8084  
ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp/> 教育資料データベース 東書Eネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/>